
黒、白。 【短編編?】

antinomy

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

黒、白。 【短編編？】

【Nコード】

N8925Q

【作者名】

antimony

【あらすじ】

主人公は全ての愛を無くし、失望的になっていた。そんなとき、ある1本の光を見つけ。今を担う私達に必要なだと思うもの。

妻が死んだ。

朝おきると飼っていた犬が死んでいた。

家に帰ったら息子と娘がストーブのガスで中毒死していた。

会社もリストラ。

失望的な、日だ。

そんなとき、俺は。

一本の小さな光を見つけた。

ああ、死んだのか。

そう、ふと。

思った。

その光を抜けると

『はじめまして。』

「・・・・・・・・・・・・・・・・」

真っ白い人がいた。

『これから、貴方に白の世界をお見せいたしましょう』

「白の？」

『さあ、ご覧あれ』

そう言うと俺を残し人は消えた。

行き着いた世界は真っ白で平和な世界。

戦争なんて言葉もなく。

争いなんて知らず。

まるで、何も書いていない“真っ白な紙”のように。

そこに、爆弾が。

ああ、可哀想に。

今まで平和で、何も知らない。

それは、さっきの“白い紙”に“黒い墨汁”を垂らしたような。

今まで白かったその紙は、一つの点という爆弾によって、
白さを失った。

『どうですか？』

「どっ、って」

『うふふ。それじゃ、これはどうでしょう？』
人がくるりとまわると今度は黒くなった。

今度は真っ黒な戦争ばかりの世界にいた。

平和なんて言葉もなく。

平等なんてまったくもって皆無。

そんな世界に。

そう、まるで。

真っ暗な世界に、光が差したような。

「平和、に、なったのか？」

『いいえ』

「！」

『彼らは、平和を知らない。だから、そのまま戦います』

「白と違うじゃないか！」

『そうですね、ですが“白だと、恐怖を覚える”』

「黒、だと？」

『平和なんて知りませんから、戦争の止め方も分らない。』

「無知は罪ってか」

そして今度は

灰色の世界になった。

『さあ、もう、わかるでしょう』

「ああ、これは、俺の居る世界」

『そう。戦争と平和が、共存している』

『今、灰色の世界で平和な国は昔辛く悲しい過去があったから。』

人は、灰色の一部に黒い点をつけて見せた。

『それが無くなることはないです』

上に白をかぶせる。

『それぞれ、黒と白が調和する』

「平和になるための、一歩」

『そうです。一歩、一歩。進めば。きっと』

まっさらな白になれる

『そしてまた、同じ黒を繰り返さぬよう努力するのです』

自分が不幸ばかりだと、思っではいけない。

つねに、前向きに。

前を見て。

白を目指して。

黒に負けないで。
灰色で満足せず。

まっさらな。
世界を。

そこで、俺は目覚めた。

妻もいないし、子供も犬もない。

まだ、高校生だから。

「……、前向きに生きるよ」

この歳で人生に失望していた自分はずかしめる様な夢だった。

そして、

外には真っ白な羽のような雪が俺へのメッセージの様に
降り注いでいた。

(後書き)

何か都合っていうか、
気分で消しちゃった『偽善者』と全く違う雰囲気になりました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8925q/>

黒、白。 【短編編?】

2011年10月3日11時25分発行